

# 3

## 小学校各教科の調査結果の概要 及び今後の指導について



### 3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

#### (1) 国 語

##### ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—  
 話・聞：話す能力・聞く能力  
 書：書く能力  
 読：読む能力  
 言語：言語についての知識・理解・技能

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)			
話すこと・聞くこと イ	1	一	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	70.0	85.4		
		二	(1)	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	70.0	45.1	
			(2)	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	話・聞	70.0	82.8	
言語事項 ア	1	一	(1)	学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。	言語	70.0	98.5	
			(2)			70.0	91.6	
			(3)			70.0	96.2	
			(4)			70.0	80.5	
	2	二	一	(1)	前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書く。	言語	70.0	79.9
				(2)			70.0	72.8
				(3)			70.0	77.7
				(4)			70.0	88.9
言語事項 ウ	2	三	(1)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読む。	言語	70.0	65.8	
			(2)			65.0	62.6	
言語事項 エ (イ)	2	四	(1)	接続語の使い方を考え、文と文のつながりを考えながら書く。	言語	75.0	91.8	
			(2)			75.0	91.8	
言語事項 エ (ア)	2	五	一	表現したり、理解したりするために必要な語句を増やす。	言語	80.0	97.6	
						(2)	80.0	95.8
						(3)	80.0	94.0
						(4)	80.0	95.4
言語事項 エ (ア)	2	六	一	語句には性質や役割の上で類別があることを理解する。	言語	70.0	35.0	
						(2)	75.0	46.8
						(3)		
読むこと (1) オ	3	一	目的に応じて、必要ところは細かい点に注意して文章を読む。	読	75.0	56.2		
読むこと (1) ウ		二	場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読む。	読	65.0	81.6		
		三	場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読む。	読	75.0	90.2		
		四	場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読む。	読	60.0	71.8		
読むこと (1) オ	4	一	目的に応じて、必要ところは細かい点に注意して文章を読む。	読	60.0	54.9		
		二	目的に応じて、必要ところは細かい点に注意して文章を読む。	読	65.0	69.4		
読むこと (1) イ		三	目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む。	読	60.0	40.9		
		四	目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む。	読	60.0	50.9		
書くこと アイウエ	5	一	相手や目的に応じて、適切に書く。書く必要のある事柄を収集したり選択したりする。書くこととすることの中心を明確にして書く。	書	60.0	61.6		

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内				
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
1	一	話の内容（工夫した話し方）	70.0	85.7	85.7	85.2	85.4	87.2	84.2	84.2
	二	(1) 話の内容（いつ、どこで）	70.0	47.7	47.8	45.5	52.3	51.5	59.9	48.6
		(2) 話の内容（話し手の考え）	70.0	85.4	85.5	84.7	83.1	81.3	87.1	82.5
2	一	(1) 「記録」の読み方	70.0	98.7	98.7	98.4	98.1	98.4	98.3	97.6
		(2) 「照明」の読み方	70.0	91.6	91.4	94.2	87.3	87.9	92.0	84.0
		(3) 「囲（む）」の読み方	70.0	96.5	96.6	95.2	95.0	95.4	94.3	94.9
		(4) 「例（える）」の読み方	70.0	78.6	79.2	68.8	81.3	82.8	87.1	76.4
	二	(1) 「きせつ」の書き方	70.0	81.4	81.8	75.7	72.5	71.6	73.4	72.8
		(2) 「きかい」の書き方	70.0	72.1	71.8	76.7	65.4	59.2	75.6	65.9
		(3) 「くわ（える）」の書き方	70.0	73.9	74.0	73.5	84.4	83.4	85.4	84.9
		(4) 「むす（ぶ）」の書き方	70.0	89.5	89.8	83.6	90.6	90.2	92.3	90.2
	三	(1) ローマ字「hotate」の読み方	70.0	65.4	65.4	64.0	68.9	71.0	72.5	64.7
		(2) ローマ字「sinbun」の読み方	65.0	62.8	63.1	58.2	64.8	67.9	67.3	60.1
	四	(1) 適切な接続語の使い方	75.0	90.1	90.1	91.0	94.3	93.6	95.4	94.2
		(2) 適切な接続語の使い方	75.0	90.1	90.0	92.1	94.4	93.1	95.7	94.9
	五	(1) 「入れる」の意味	80.0	97.2	97.1	97.4	98.4	98.2	99.1	98.1
		(2) 「入れる」の意味	80.0	95.9	95.9	96.3	97.2	97.2	96.8	97.5
		(3) 「入れる」の意味	80.0	94.3	94.3	94.2	95.2	95.2	96.3	94.4
		(4) 「入れる」の意味	80.0	95.7	95.7	95.8	96.7	96.6	97.7	96.3
	六	(1) 修飾と被修飾の関係	70.0	31.7	31.7	31.7	37.2	34.8	36.7	40.1
		(2) 主述の関係	75.0	42.4	42.5	41.8	49.9	50.8	45.0	51.8
		(3)								
	3	一	指示語の内容（「そのとき」）	75.0	54.4	55.2	42.3	62.7	64.6	61.3
二		細部の読み（子どもたちの様子）	65.0	79.2	79.3	77.2	84.9	86.4	86.8	82.3
三		細部の読み（今日だけの意味）	75.0	90.4	90.6	86.2	90.9	90.5	91.1	91.2
四		細部の読み（ひと安心の理由）	60.0	71.5	71.7	68.8	72.2	72.0	69.6	73.9
4	一	細部の読み（疑問文）	60.0	51.1	51.4	46.0	52.1	44.1	58.7	56.4
	二	指示語の内容（「そうすること」）	65.0	66.4	67.5	50.3	75.9	78.5	79.9	70.8
	三	中心文の要約（30字以内）	60.0	41.0	41.3	36.0	40.1	39.0	39.5	41.6
	四	段落相互の関係	60.0	51.2	52.0	38.6	55.4	53.3	60.2	54.8
5		目的に応じた表現（書き）	60.0	59.3	59.1	61.9	66.5	64.6	71.9	65.4
教 科 全 体			70.0	74.4	74.5	71.7	76.4	76.0	78.4	75.7

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
84.7	86.0	82.0	81.9	84.3	87.4	86.8	90.5	86.3	79.3	79.2	79.8	86.1	85.8	86.8	85.4
46.4	48.0	48.4	34.4	47.7	44.7	46.9	52.0	39.5	33.0	32.5	35.1	41.4	38.3	51.5	45.1
80.6	82.1	74.6	79.4	81.5	83.0	82.6	86.0	81.7	84.1	83.4	86.9	81.5	80.8	83.5	82.8
98.7	98.8	97.8	99.4	98.6	98.1	97.8	98.6	98.2	98.4	98.8	97.0	98.5	98.6	97.9	98.5
93.6	93.6	91.0	95.3	94.8	90.8	89.9	92.6	90.6	93.7	93.3	95.2	92.1	92.2	91.5	91.6
95.9	96.6	93.3	96.3	95.6	96.0	96.1	97.3	95.3	96.4	96.3	96.4	96.8	97.0	96.2	96.2
85.3	85.8	82.0	87.2	85.1	77.8	77.2	79.4	77.4	82.1	82.6	80.4	79.0	79.3	77.9	80.5
77.8	78.1	76.1	80.0	76.3	82.4	85.9	83.9	79.0	76.3	77.3	72.6	83.1	82.7	84.4	79.9
71.4	71.2	71.8	70.0	73.0	77.0	81.0	73.0	76.2	69.0	70.5	63.1	76.6	77.7	72.7	72.8
81.4	78.7	86.5	80.9	88.2	75.2	77.2	76.5	73.1	86.0	85.8	86.9	74.6	74.1	76.4	77.7
85.1	84.4	88.0	84.4	85.7	90.9	90.9	93.4	89.7	83.2	84.3	79.2	90.8	90.5	91.8	88.9
64.7	66.7	64.6	58.4	60.9	71.3	76.7	72.4	67.0	67.2	67.9	64.3	61.7	60.4	65.8	65.8
62.6	65.0	61.8	54.4	59.8	65.8	72.0	63.7	62.5	62.2	64.0	55.4	59.2	58.6	61.3	62.6
92.5	92.4	95.8	89.1	92.3	93.7	91.8	96.7	93.5	89.8	89.6	90.5	90.8	90.5	91.7	91.8
93.0	93.1	95.3	89.4	92.8	93.5	92.3	95.7	93.4	89.2	89.0	89.9	90.8	90.4	91.9	91.8
98.0	98.1	98.0	97.2	98.1	98.1	98.1	98.1	98.0	96.8	96.9	96.4	97.0	96.9	97.5	97.6
96.0	96.6	96.0	94.1	94.8	95.3	94.8	95.9	95.4	93.9	93.6	95.2	95.6	95.5	95.8	95.8
94.2	95.1	91.5	93.1	93.7	93.8	93.2	95.3	93.6	91.4	91.6	90.5	93.7	93.6	94.3	94.0
95.3	96.2	93.5	93.8	94.8	96.2	97.2	96.1	95.5	94.0	94.5	92.3	94.3	94.1	94.8	95.4
38.5	41.5	34.9	33.1	33.6	34.5	33.8	33.2	35.6	40.1	40.0	40.5	32.9	34.3	28.4	35.0
50.0	50.5	51.6	52.5	43.8	52.8	59.6	52.8	48.1	42.5	43.5	38.7	43.9	42.7	48.0	46.8
56.9	58.2	57.9	55.0	51.2	58.9	60.4	66.8	53.8	57.0	59.4	47.6	52.3	50.3	58.8	56.2
82.8	84.7	83.3	72.8	82.6	83.8	83.8	87.8	81.7	82.4	84.1	75.6	79.5	79.6	79.0	81.6
90.8	91.1	90.3	89.7	91.2	90.0	92.3	90.3	88.2	87.1	87.9	83.9	90.0	89.8	90.5	90.2
70.7	72.5	70.6	68.4	64.5	74.1	71.8	80.4	72.5	69.7	69.8	69.6	72.1	72.6	70.5	71.8
62.4	64.3	59.1	57.5	61.7	55.6	63.9	53.4	50.8	62.6	66.7	46.4	51.1	51.3	50.5	54.9
68.4	70.7	67.8	54.1	71.1	72.2	70.5	75.1	72.0	65.9	67.6	58.9	68.9	67.8	72.4	69.4
40.0	42.4	33.9	35.9	39.1	42.9	45.0	43.9	41.0	35.6	36.6	31.5	41.8	42.3	40.4	40.9
46.5	50.9	36.7	41.9	41.0	56.7	60.1	56.3	54.6	45.9	48.7	35.1	49.9	50.9	46.8	50.9
63.3	68.0	52.4	56.9	59.5	66.2	68.7	68.2	63.3	59.5	59.7	58.9	57.5	56.8	59.8	61.6
75.6	76.7	74.2	72.5	74.6	76.6	77.9	78.2	74.9	73.8	74.5	71.1	74.1	73.9	75.0	75.1

## ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3		1二(1)(2)	71.1	70.0
書くこと	1		5	61.6	60.0
読むこと	8	3三	3一、4一、 4三、4四	64.5	65.0
言語事項	18	2一(1)、2一(2)、 2一(3)、2四(1)、 2四(2)、2五(1)、 2五(2)、2五(3)、 2五(4)	2三(1)、2三(2)、 2六(1)、 2六(2)(3)	81.3	72.8

内容・領域別にみると、通過率の高かったのは「言語事項」である。

通過率が低かったのは、「書くこと」、「読むこと」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「言語事項」であり、同程度だったのは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」である。

## エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す能力・ 聞く能力	3		1二(1)(2)	71.1	70.0
書く能力	1		5	61.6	60.0
読む能力	8	3三	3一、4一、 4三、4四	64.5	65.0
言語につい ての知識・ 理解・技能	18	2一(1)、2一(2)、 2一(3)、2四(1)、 2四(2)、2五(1)、 2五(2)、2五(3)、 2五(4)	2三(1)、2三(2)、 2六(1)、 2六(2)(3)	81.3	72.8

観点別にみると、通過率の高かったのは、「言語についての知識・理解・技能」である。

通過率が低かったのは、「書く能力」、「読む能力」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「言語についての知識・理解・能力」であり、同程度だったのは、「話す能力・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」である。

## オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
1	二(1) 二(2)	45.1	70.0	(1)の誤答例：学校(1.0)、帰える(1.0)、さち子さん(1.0)、さんぽ、遊んでいる、山口さん他(4.5) (2)の誤答例：ダンボール(18.0)、草村(2.5)、草のおく・ところ(2.5)、道路・道ばた(1.0)
2	六(1)	35.0	70.0	旗を(35.0)、旗手が(11.0)、赤い(9.5)、校庭で(8.5)、無答(1.5)
2	六(2) 六(3)	46.8	75.0	主語の誤答(旗を18.5、校庭で16.0、赤い4.5) 述語の誤答(旗を13.0、旗手が3.0、校庭で2.5)
3	一	56.2	75.0	後ろの事柄の指摘「すぐとなりのおりから……聞こえました」等(18.5)、ライオンの気持ちの指摘「まずいなあ……目をつぶっていました」等(5.5)
4	一	54.9	60.0	無答(12.0)、けれども(3.0)、覚えて(3.0)、できます、なります、でしょう、あるのです等の文末(9.5)
4	三	40.9	60.0	無答(22.5)、3番目の文を選択(15.5)、1番目の文を選択(4.0)、別の段落を選択(3.0)
4	四	50.9	60.0	ウ(29.0)、ア(6.5)、イ(6.0)、無答(3.5)
5		61.6	60.0	がんばりたいことを書いていない(13.5)、段落構成ができていない(12.5)、無答(8.5)、

- 1 二(1)(2)について

誤答の原因として、(1) (2)とも、「学校」、「草」といった名詞のみの記述が多いことから、名詞のみをメモし、その後に単に思いついた言葉を付け足して答えていたと考えられる。また、「帰える」という送り仮名の間違いも多く見られた。

- 2 六(1)について

誤答の原因として、エが多かったことから、「大きく」が連用修飾語であり、「振り回している」にかかり、詳しく説明していることを理解していなかったことが考えられる。

- 2 六(2)(3)について

誤答の原因として、主語や述語の誤答にエが多かったことから、旗手の意味がわからなかったことと「何が」「どうした」の意味がわからず、判別できなかつたと考えられる。

- 3 一について

誤答の原因として、「そのとき」の後に書かれている事柄を指摘していることから、指示語の働きを理解していないことが考えられる。また、ライオンの気持ちを書いていることから、目的に応じた読みができていないと考えられる。

- 4 一について

誤答の原因として、無答や疑問文でない文を多く選択していることから、疑問を表す一文の判別ができていないことが考えられる。

- ④三について

誤答の原因として、無答や三番目の一文を多く選択していることから、「内容の中心となる文」の意味がわからなかったことと、「このように」の「この」の指し示す内容がわからなかったと考えられる。

- ④四について

誤答の原因として、ウが多かったことから、話題提示（問題提示）の段落や問題に対する答えの段落、そして、その中は事例や説明の段落として、段落相互の関係をとらえることができなかつたと考えられる。

- ⑤について

誤答の原因として、第2段落のがんばりたいことを書いていないものが13.5%、段落構成ができていないものが12.5%、無答が8.5%あったことから、問題の意図を十分に読み取ることができなかつたことや段落意識がなかつたことが考えられる。

## カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「読むこと」と「書くこと」の充実が挙げられる。

今後の学習指導においては、昨年と同様に、「読むこと」については、「目的に応じて、必要ところは細かい点に注意して文章を読むこと」、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」や「目的に応じて、内容を大きくまとめながら文章を読むこと」、また、「書くこと」については、「相手や目的に応じて書くこと」や「書くこと」の中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと」の指導の充実を図る必要がある。

評価の観点別にみた課題としては、中心となる語や文をとらえて、細かい点に注意して読むこと、目的に応じて、段落相互の関係を考え、内容を大きくまとめながら文章を読むことなどの「読む能力」の育成と、相手や目的に応じて、段落意識をもって適切に書くなどの「書く能力」の育成が挙げられる。

今後の学習指導において、「読む能力」の育成では、目的に応じて、内容の中心をとらえさせることや段落相互の関係を考えさせる指導が大切である。文学的文章では、5W1Hを基に主語と述語の関係を確認したり、「こそあど言葉」の使い方や違いに気付かせたり、文章の展開をおさえたりする指導が大切である。特に、低学年では「場面の様子」、中学年では「場面の移り変わりや情景」、高学年では「登場人物の心情や場面についての描写」に指導の重点化を図る必要がある。

説明的文章の読解に必要な「疑問を表す一文」を探す設問の通過率は、昨年より上がったが、「内容の中心となる文」を選び、まとめて書く設問の通過率が特に低かつたことから、3年生で「要点をまとめること」、4年生で「段落相互の関係付け」を重点的に指導する必要がある。特に、子どもたちは、事実や考え（主張）より細かな説明や事例を内容の中心と読み違える傾向があるので、接続語、文末表現、繰り返しの語句などの言葉を押さえながら、内容の中心を確実に読み取らせる指導が大切である。

さらに、段落相互の関係を把握することができるようにするには、指示語、接続語、文末表現の理解の指導だけでなく、「話題提示・問題提示の部分」や「事例や説明している部分」、「問

題提示に対する答えや全体をまとめている部分」等の意味ごとのまとまりとして、文章構成を理解できるような指導が必要である。

「書くこと」の育成では、昨年と同様、「相手や目的に応じて、主題意識をより明確にもつこと」や「目的に応じて、理由と考えを区別して、段落意識をもって適切に書くこと」の指導の充実が大切である。そのためには、まず、どのような目的でどのような事柄を書くかという事柄のまとまりを意識して、区切りを考えることができるようにする指導が必要である。そして、他の領域や教科と関連させたり、日常的に意図的・計画的な指導の機会を設けたりして、文章を書くことに対する興味・関心を高め、日ごろから書くことに慣れさせる必要がある。

個々の問題の誤答傾向からみた課題として、「話すこと・聞くこと」については、話の中心に気を付け、話の内容を正しく聞き取る能力の伸長が挙げられる。

今後の学習指導においては、自分の伝えたい事は何かという観点で、事柄の順序や要点、中心など、話の組立てを意識しながら、大事なことを聞き取ることができるように指導することが大切である。5W1Hの「だれが」、「いつ」、「どこで」、「何を」、「なぜ」、「どのように」という観点で、話を終わりまで注意して聞くことや大事なことはメモを取りながら聞くことを意図的、計画的に指導する必要がある。そして、国語の授業だけでなく、他教科や領域とも関連させながら、教育活動全体を通して読解力や論理的思考力、表現力を育成することが大切である。

また、話を聞き取れない原因として、語彙<sup>い</sup>の不足も考えられる。国語辞典によって言葉の意味や使い方を知るだけでなく、文脈から言葉の意味を推測し、内容を読み取る指導も大切である。

漢字の読み書きについては、おおむねできているが、漢字を書く設問は、読む設問より通過率が10%低かったことが挙げられる。

今後の学習指導においては、日常の学習活動で書く文や文章に既習の漢字を使うことを繰り返し指導することが必要である。また、全体を通じて語彙不足が原因と考えられる誤答が多かったことから、漢字の音読みや訓読み、書き順の指導と併せて、その文字で構成されている熟語などにも着目させ、その意味を考えさせるなどの語彙を増やすための指導も必要である。

ローマ字の読みについては、国語の時間だけではなく、パソコン等を活用する際等、日々の学習生活の中で継続的に指導することが必要である。

言語事項については、「主述の関係」や「修飾語と被修飾語との関係」が低かったことが挙げられる。

今後の学習指導においては、「主語と述語の関係」を「何が」「どうした」を観点に読み取らせるとともに、意味を詳しくする語である修飾語がどの言葉にかかるのか、その役割と語句相互の関係を実際に矢印で示し、かかり方を視覚的にとらえさせことによって、文がどのように組み立てられているかを、しっかり理解させることが大切である。

文学的文章においては、低・中学年で、「時間的順序」や「事柄の順序」、「場面の様子」や「場面の移り変わりや情景」を叙述に即して読み取る指導が必要である。この指導が、高学年の「心

情」を読み取る際に大切なところの細部に注意して読む学習へとつながっていく。また、「場面の様子」などを読み取る際は、動作化などを用いて、書いてある叙述をもとに書いていないことを想像しながら、主体的に読み取っていく授業の工夫が大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、「読むこと」の充実が挙げられる。

文学的文章の設問において、指示語の記述問題は、昨年度も説明的文章ではあったが類似の問題を出題していることから設定通過率を75%とした。しかし、指示語の働きを理解していない等から、実際の通過率は56.2%となった。

また、説明的文章の設問で、疑問文を見付ける問題や文章構成を問う類似問題を昨年に引き続き出題したが、疑問文の判別や段落相互の関係をとらえられず、実際の通過率は、40%台から50%台にとどまった。

今後の指導においては、意味内容だけを追うのではなく、指示対象との関係を意識させ、段落の役割や段落相互の関係、文章構成についての理解ができるように指導を工夫する必要がある。

## キ まとめ

「話すこと・聞くこと」、「言語事項」の領域はおおむね良好である。一方、「書くこと」、「読むこと」の領域では、目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えたり、内容を大きくまとめながら文章を読んだりすること、そして、目的に応じて書こうとすることの中心を明確にし、適切に書くことの定着に不十分な点が認められる。

今後は、「話す能力・聞く能力」を向上させるために、5W1H（「だれが」、「いつ」、「どこで」、「何を」、「なぜ」、「どのように」など）を意識しながら、相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるように指導する必要がある。「書く能力」の向上については、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、表現しようとする態度を育てることも大切である。「読む能力」の向上については、目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるよう指導することが大切である。「言語事項」の定着については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の指導を通して、繰り返しながら、日常生活で活用できるような指導が必要である。

全般的な国語力向上のために、国語科の授業のみならず、他教科においても、言語を大切に、発表等で言語力の育成を図るとともに、読書指導との関連を図り、児童を読書に親しませ、短編・長編等の物語文、図鑑、記録・報告等の説明文など多種多様な文章を読ませたり、ブックトークや読書発表会等の言語活動を行ったりするなど、指導の工夫が必要である。